

発表事項

1 令和2事業年度一般会計事業計画

2 令和2事業年度一般会計収入支出予算

3 令和元事業年度特定 B 型肝炎ウイルス感染者給付金等支給関係特別会計予算、事業計画及び資金計画の変更

4 保険者との契約の改定

5 第22次審査情報提供（医科）及び第17次審査情報提供（歯科）

6 平成31年3月末現在における診療報酬等収支整理不能額の処理

7 令和元年台風19号に伴う被災医療機関の概算請求に係る確定状況等

8 令和元年12月審査分の審査状況

9 令和2年2月審査分の特別審査委員会取扱状況

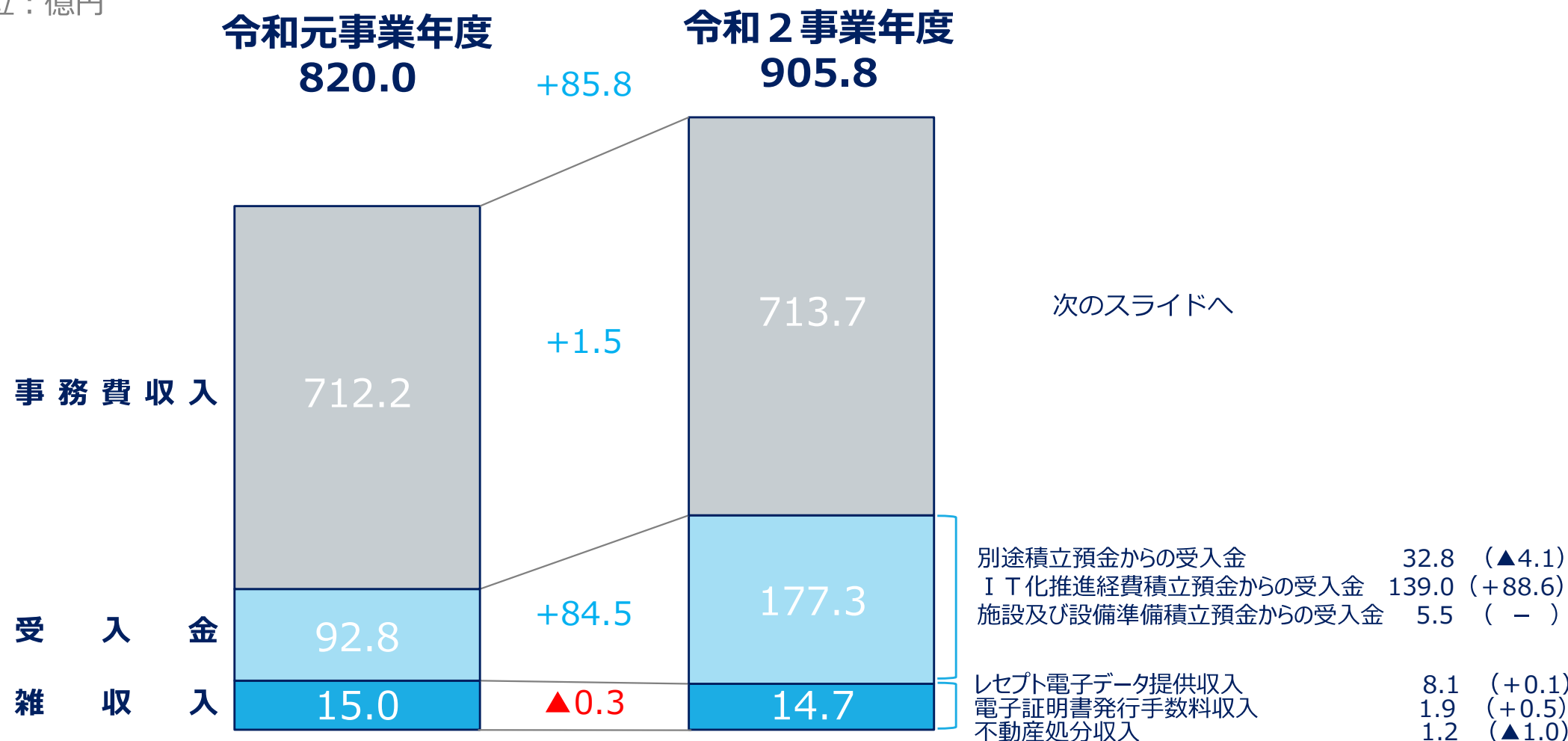
10 令和元年度第10期（1月）分の後期高齢者支援金等収納状況

11 その他

事務費勘定 1/6

収入総額

単位：億円



次のスライドへ

※ 端数整理（四捨五入）の関係から、合計等が不一致となる場合があります。
また、括弧書きについては、前年度との差額を表しています。（以下この議事について同じ）

令和2事業年度の収入総額は905.8億円、前年度比較で85.8億円増。
要因は、システム刷新経費の財源となるIT化推進経費積立預金からの受入が前年度の受入額50.4億円から88.6億円増の139.0億円となったことによる。

事務費勘定 2/6

収入（事務費収入の内訳）

単位：億円

令和元事業年度
712.2

+1.5

令和2事業年度
713.7平均手数料 61.50円
(件数 1,159百万件)平均手数料 59.90円
(件数 1,192百万件)

医療保険

578.7

+1.3

580.0

件数増による影響 (+16.8)
手数料単価引下げによる影響 (▲15.5)

公費負担医療

49.3

▲1.5

47.9

件数減による影響 (▲0.0)
手数料単価引下げによる影響 (▲1.3)

自治体医療

84.2

+1.7

85.9

件数増による影響 (+3.9)
手数料単価引下げによる影響 (▲2.3)

単位：千件

	①令和元年度予算	②令和2年度予算	②-①差
医療保険	940,257	967,635	27,378
公費負担医療	82,013	81,938	▲75
自治体医療	136,580	142,905	6,325
合計	1,158,851	1,192,479	33,628

平均手数料は1.60円減の59.90円。

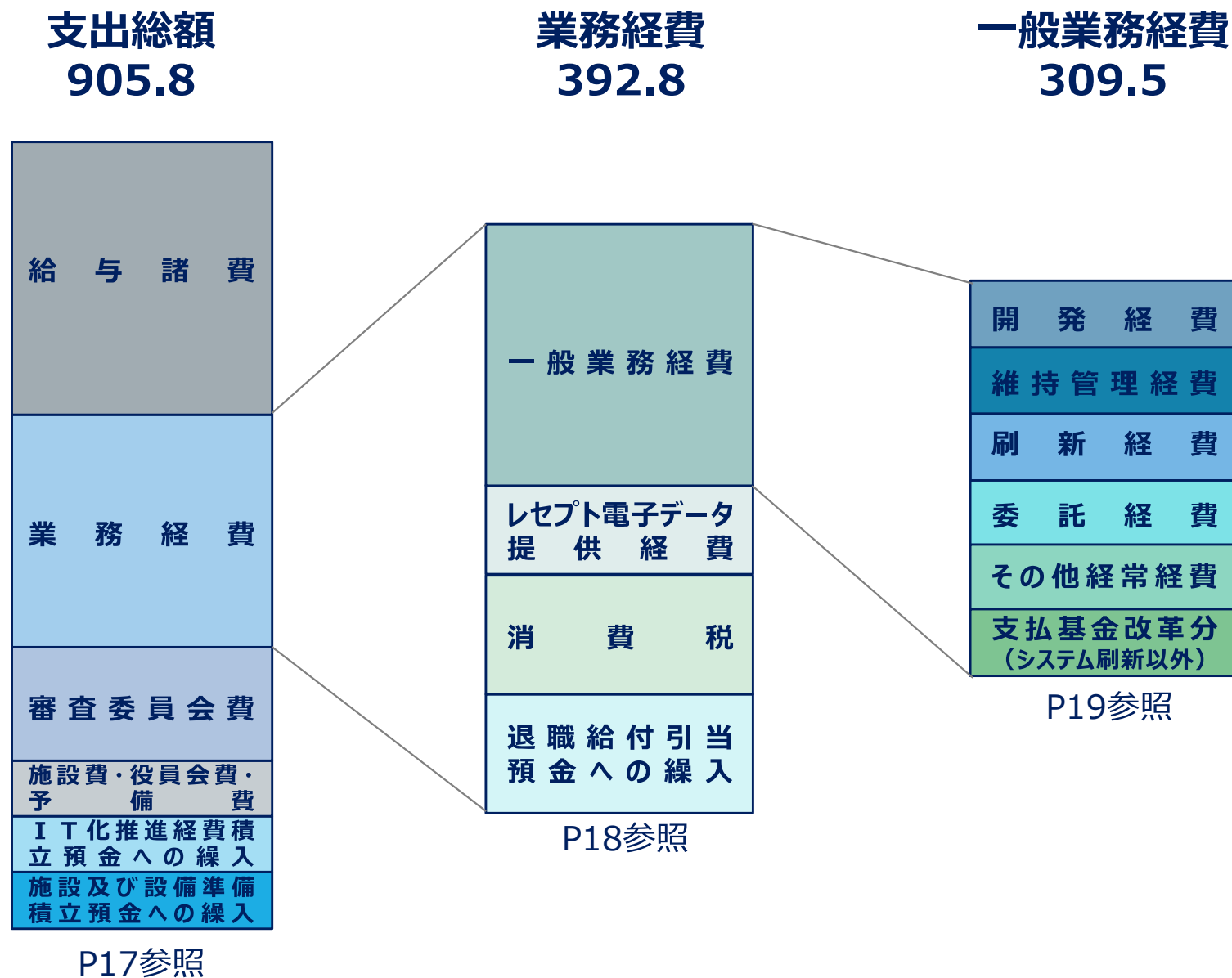
医療保険1.3億円増の要因は、就業率の上昇傾向に伴う国保からの制度間異動等による加入者数の増に伴う件数増。

公費負担医療1.5億円減の要因は手数料単価引下げによる影響。自治体医療1.7億円増の要因は対象年齢の拡大に伴う件数増による影響。

事務費勘定 3/6

支出総額の分解図

単位：億円



事務費勘定 4/6

支出総額

単位：億円

令和元事業年度
820.0令和2事業年度
905.8

+85.8

給与諸費

367.5

▲11.2

356.3

職員削減等

令和元年度定員
4,207人

→

令和2年度定員
4,113人 (▲94名)

業務経費

288.6

+104.2

392.8

次のスライドへ

審査委員会費

123.4

▲2.8

120.6

診療報酬改定に伴う図書購入の増 1.1 (+0.8)

審査委員会手当支給実績の反映による減 67.6 (▲3.9) など

施設費・役員会費・予備費

12.4

▲0.4

12.0

施設費 7.8 (▲0.4) 予備費 3.7 (▲0.1)

IT化推進経費積立預金への繰入

27.1

▲4.0

23.1

役員会費 0.5 (+0.0)

システム刷新経費

施設及び設備準備積立預金への繰入

1.0

1.0

基金事務所建物等の修繕

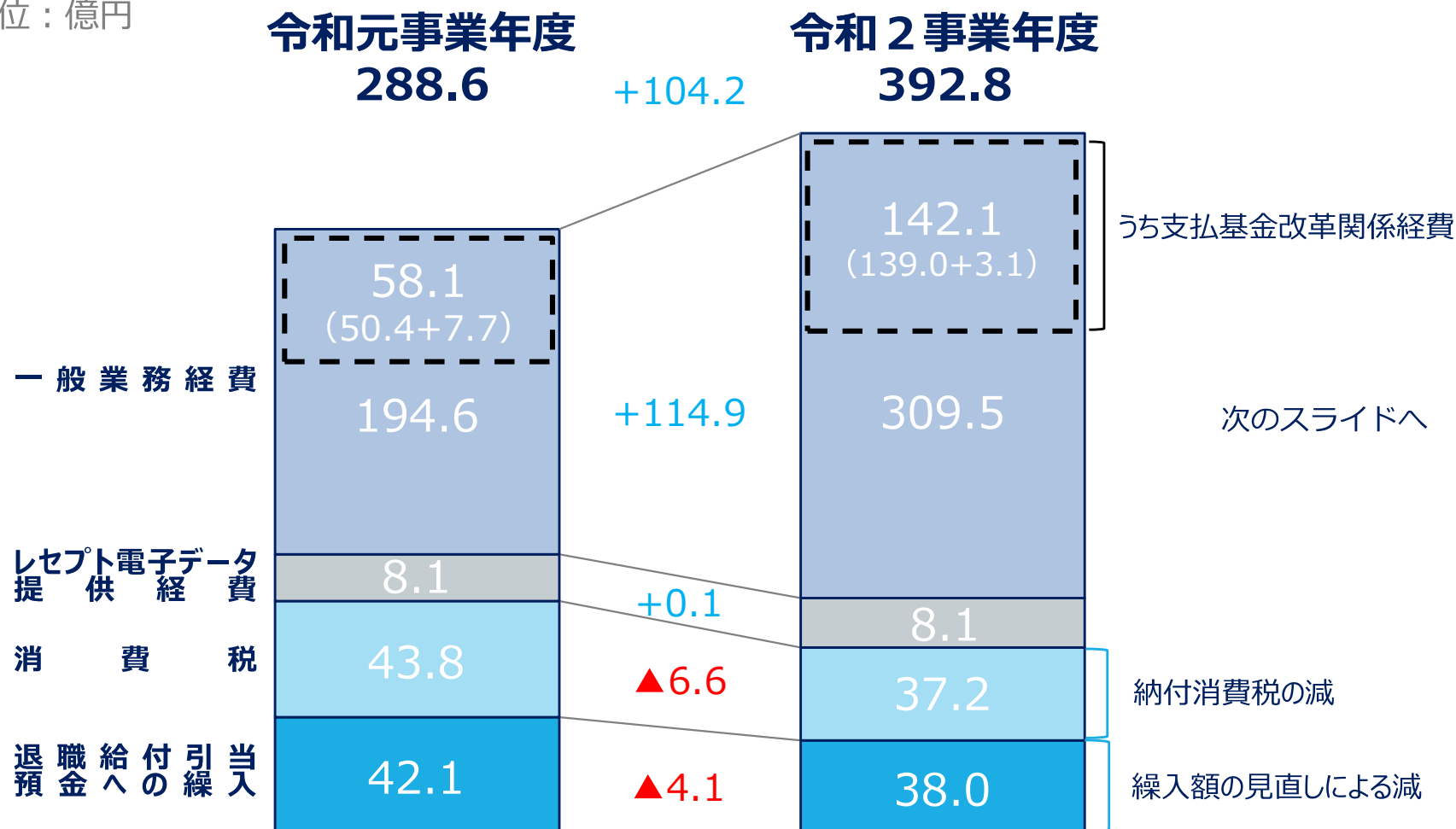
審査委員会費は2.8億円減、その要因は図書購入費増0.8億円及び審査委員会手当支給実績の反映による3.9億円減。

IT化推進経費積立預金への繰入は過年度に発生した調達不調によるシステム刷新経費の未執行により繰入計画を見直したことに伴い4.0億円減。

事務費勘定 5/6

支出（業務経費の内訳）

単位：億円



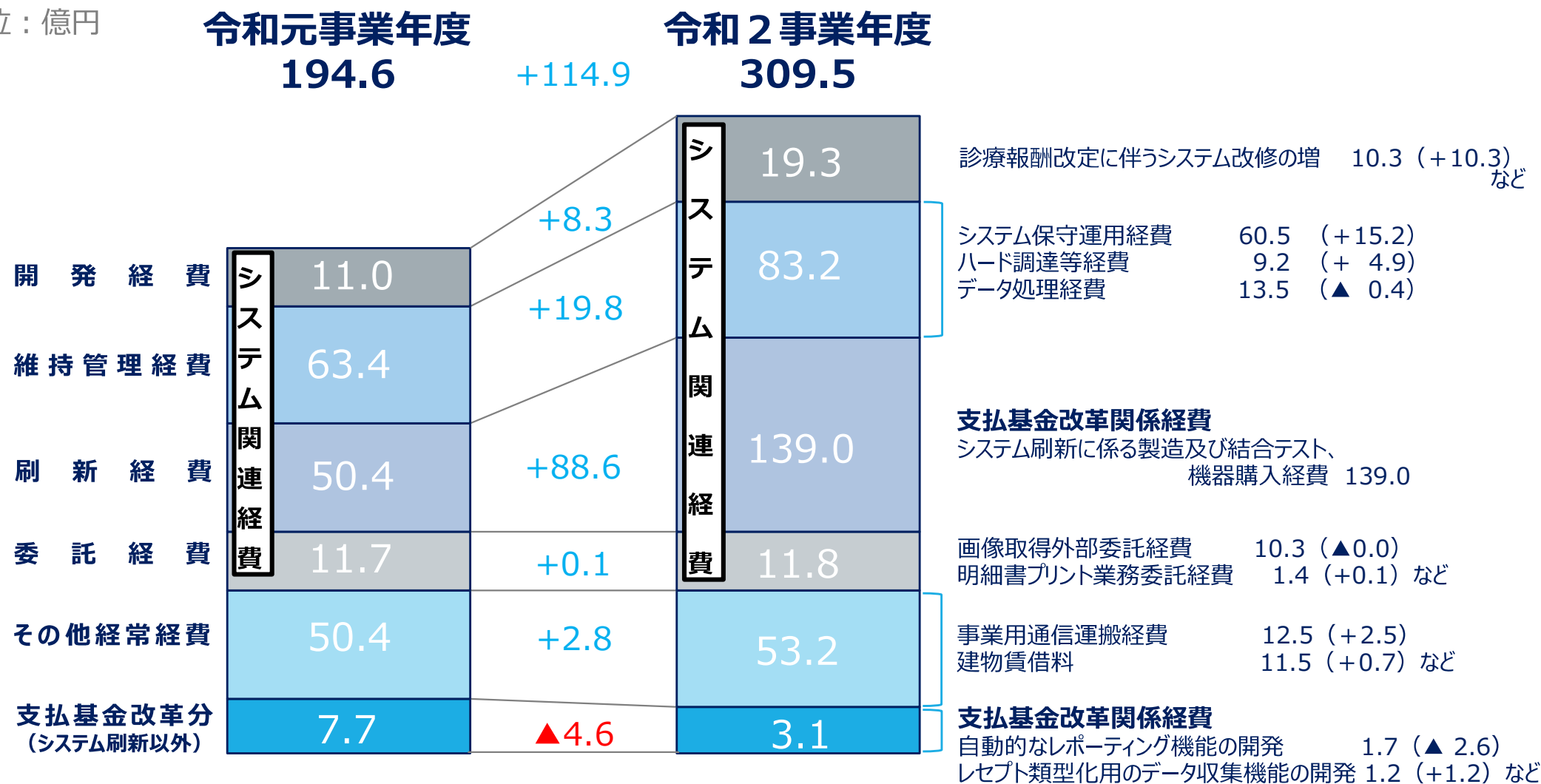
消費税は支払基金改革関係経費（システム刷新経費）等の支出が増加することにより6.6億円減。

また、退職給付引当預金への繰入は退職給付債務に対する預金の充足率の上昇に伴い、預金への繰入額を見直したことにより4.1億円減。

事務費勘定 6/6

支出（一般業務経費の内訳）

単位：億円



開発経費は診療報酬改定に伴うシステム改修10.3億円等により8.3億円増。維持管理経費はクラウドとの並行稼働によるシステム保守運用経費等の増により19.8億円増。刷新経費はシステム刷新に係る製造及び結合テスト等により88.6億円増。支払基金改革分は自動的なレポート機能の開発▲2.6億円減等により▲4.6億円減。

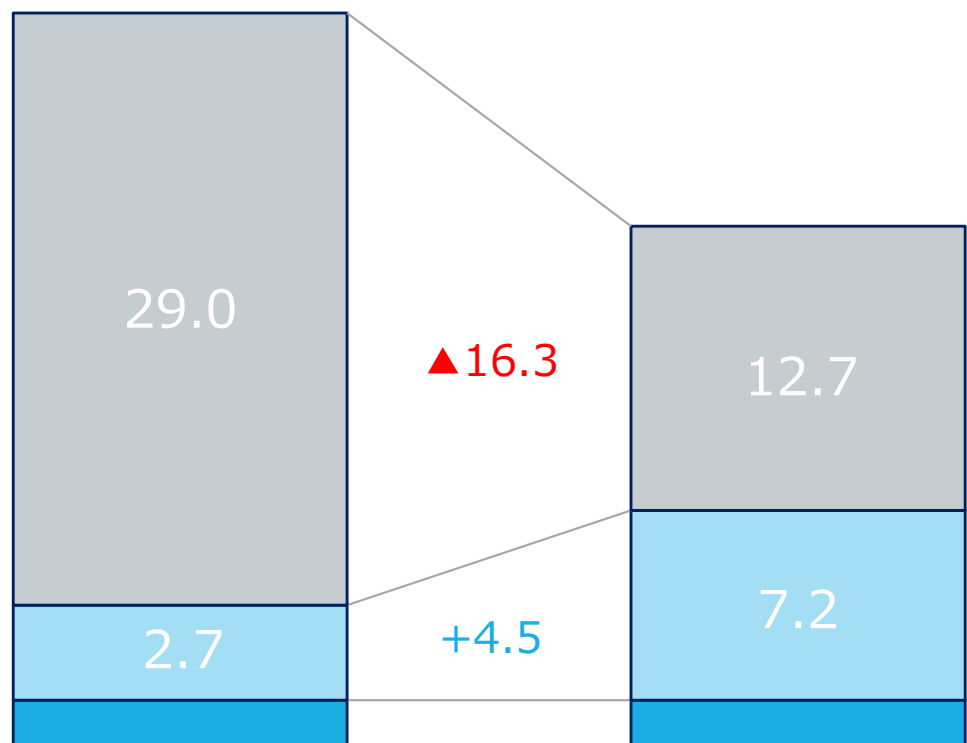
社会保障・税番号制度勘定 1/2

収入

単位：億円

令和元事業年度 **31.6** ▲11.7 令和2事業年度 **19.9**

負担金収入



収入金

雑収入

運営負担金単価（円）の二期比較
＜中間サーバー＞

	①令和元年度予算		②令和2年度 予算	差（②-①）
	9月まで	10月以降		
協会けんぽ	2.94	2.99	1.37	▲1.62
健保組合	2.94	2.99	1.37	▲1.62
共済組合等	4.37	4.46	0.48	▲3.98

＜オンライン資格確認等システム（令和3年3月稼働）＞

	令和2年度予算
協会けんぽ	1.10
健保組合	1.10
共済組合等	1.10

協会けんぽ負担金収入	6.9	(▲7.0)
健保組合負担金収入	5.2	(▲5.3)
共済組合等負担金収入	0.6	(▲4.0)

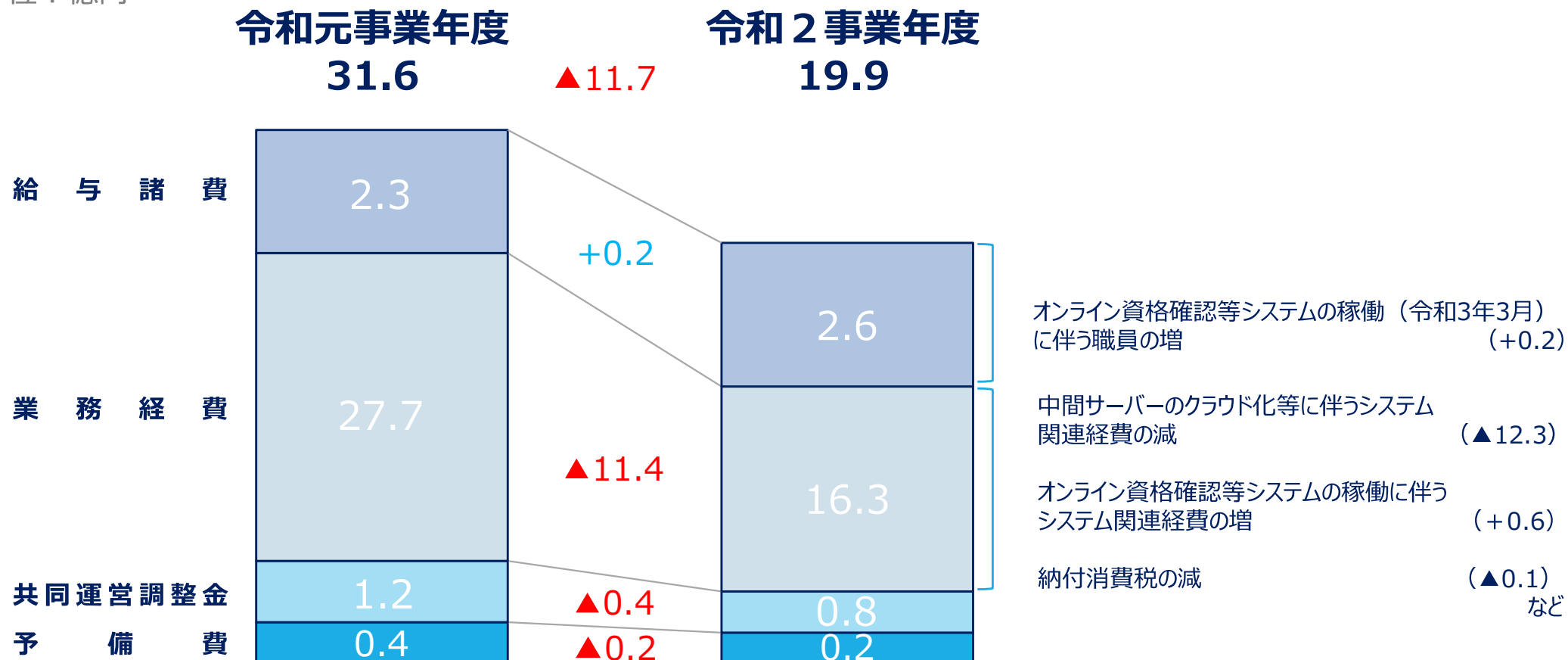
別途積立預金からの受入金

医療保険者等向け中間サーバーの運用に必要な経費の縮減及び別途積立預金からの受入金の増加により、負担金収入は16.3億円減の12.7億円。
なお、令和3年3月からの稼働するオンライン資格確認等に係る運営負担金についても、負担金収入に計上。
別途積立金からの受入金の増については、平成30年度におけるシステム運用保守費用等の削減によるもの。

社会保障・税番号制度勘定 2/2

支出

単位：億円

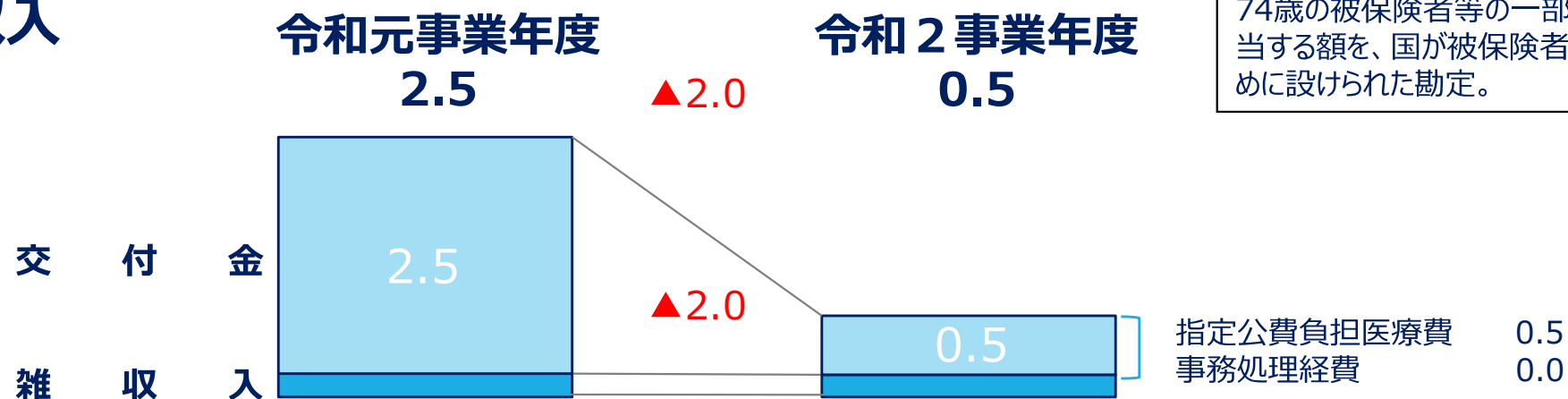


給与諸費はオンライン資格確認等システムの稼働（令和3年3月）に伴う職員の増により0.2億円増。
 業務経費は中間サーバーのクラウド化等に伴いシステム関連経費が縮減され12.3億円減及びオンライン資格確認等システムの稼働に伴うシステム関連経費0.6億円の増等により11.4億円減。

高齢者医療制度円滑導入勘定

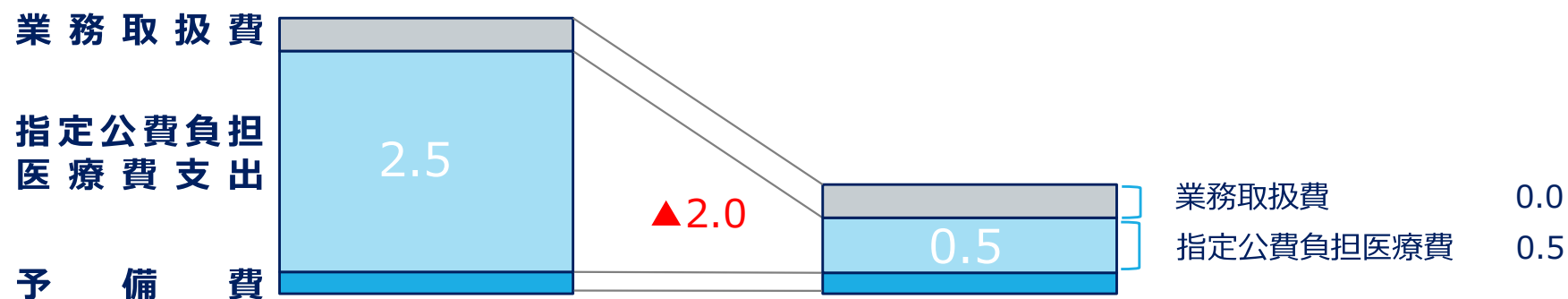
単位：億円

収入



高齢者医療制度円滑導入勘定は、70歳から74歳の被保険者等の一部負担金等の一部に相当する額を、国が被保険者等に代わって支払うために設けられた勘定。

支出



本勘定は、国からの交付金が財源。

平成31年3月診療分を以て軽減特例措置は終了したが、月遅れレセプト及び再審査調整による医療機関等への支払いに充てるための交付金が措置される。

なお、令和2事業年度交付金額は2.0億円減。